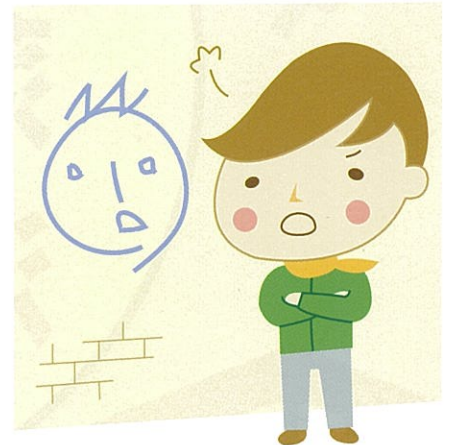


# あなたの大切なおうちの塀や壁などに、 落書きをされたらどうしますか？

民家の塀や壁、商店のシャッター等にされる、心ない落書きは、本当に迷惑です。そこで、地域ぐるみでの落書き対策の輪を広げていただくために、落書き消しへの取り組み方等をわかりやすくまとめました。



みんなで、消そう!! 地域で、力を合わせて取り組もう!!

力を合わせて

断固拒否



広範囲の

消去活動



多くの人の

監視の目



落書き消しは、  
みんなでやるのが、  
いちばんなのだ!



## Topic 岡山から日本全国へ広がった、落書き消しの輪

2002年岡山市は、一時、日本最大の落書き被害県としてテレビ報道されるなど、その被害は深刻でした。岡山県は落書き禁止を含む「岡山県快適な環境の確保に関する条例」を制定し、県民に落書き防止と消去を呼びかけ、それに呼応する形で「落書き調査隊」などの市民ボランティアも発足するなど、落書きを許さない気運が急速に高まり、県民運動となりました。

その時開発された落書き対策のノウハウは、「落書き一斉消去岡山方式」という形で放送メディアでも広く取り上げられました。反響は大きく、東京・下北沢や大阪・アメリカ村、京都など、落書き被害に悩む日本全国の都市へと波及していき、街が生まれ変わっていきました。





落書きは直接の被害者<sup>ひがいしゃ</sup>だけではなく、誰がいつ被害にあってもおかしくない、地域全体の問題です。地域のみんなで力を合わせて落書き対策に取り組みましょう!!

町内会、自治会、PTA、青少年団体など落書き対策はだれでも取り組みます。



## 落書きに、知らん顔をしていると…

**どんどん広がっていく!**

「このあたりは、十分に管理されていない」、「警察に届け出るなど、厳しい対応に出ることはない」と甘く見られ、「あっ」という間に地域全体に広がっていくことも少なくありません。

**青少年へ悪い影響が…**

落書きを放置しておく、青少年に対し、「この程度の事なら許される」「誰も無関心だからかまわない」という誤ったメッセージを送ることになります。落書きは犯罪であり、決して許されないということを示す事が大切です。

**犯罪を招く!**

落書きが広がり、いたるところで見られるようになると、他の犯罪を招くおそれがあります。犯罪に住民の目が行き届いておらず、治安対策に無関心な地域と思われ、より重大な犯罪を招くのです。

(この現象は※「割れ窓理論」として知られています。)



**そして、まちが荒れていく…**

他人や他人の物を尊重する、という最低限のモラルが地域から失われていきます。人々の心までが荒廃し、弱い者いじめや犯罪が蔓延する“住みにくいまち”となっていくのです。

**※割れ窓理論(ブローケン ウィンドウズ理論)**

割れた窓ガラスをそのままにしておくと、その建物は十分に管理されていないと認識され、他の窓ガラスも割られ、やがて建物全体が荒廃する。同様に小さい犯罪を放置しておく、それまで治安がよかった地域でも、住民や警察の目が行き届いていないと判断され、他の犯罪を誘発やがて凶悪犯罪まで発生するようになるという理論。このように、割れ窓理論では、割れた窓ガラスを最初に修復することが大切であると言われています。

## Topic 落書き自体で困ることはない? いいえ、大変危険です!

落書き犯は、盗品の油性スプレーペンキで自分のニックネームなどを崩し字にし、一晩で百件近くの物件に落書きします。これはタグ(しるし)をつけるタグングと呼ばれる犯罪行為です。同時に、落書きの中にはこの一見意味不明の文字にまざって、個人宅の留守状況を窃盗犯に知らせる「偵察部隊」の暗号が存在することがあります。(例えば、写真の「R-10」は、「この家は10時まで留守(R)」ということを示しています。)また公衆トイレや公園などで、麻薬の取引の場所を示すために使われるタグもあります。「意味不明な落書きだ」と漫然と放置しておく、自宅の周辺に知らない間に凶悪犯罪者が近づいてくることになる可能性があります。

